

●●● “人” をささえる ●●●

—— ワークライフバランスの充実へ。男性の育児休業取得を促進 ——

男性の育児休業推進キャンペーンで 育児取得率が50%に

社会的にワークライフバランスの充実が求められる中、男性の育児休業(以下育児)についても注目されており、政府は2025年までに男性の育児取得率を30%とする目標を掲げています。

当社では2019年4月に「男性社員の育児取得を推進するキャンペーン」を立ち上げ、男女ともに家庭と両立しながら活躍できる環境づくりに取り組みました。キャンペーンでは、子供の誕生時に上司との面談を必須にし、育児の取得計画や仕事のフォロー体制について話し合い、職場での理解醸成、円滑な育児取得を推進しています。また、育児期間時に特別有給休暇を付与することとし、休業中の給与減の補完も行っています。

キャンペーンの効果もあり、2019年度は9人の男性社員

が育児を取得、取得率は50%に達しました。また、職場では欠員に対応するため業務の見える化が図られたり、本人の復職後も仕事と育児の両立により、効率的な働き方が身に付くといった相乗効果にもつながっています。男性の育児参加により、生産性向上、女性活躍、少子化対策等、社会や企業が変わっていきます。当社は男性の育児取得を始め、ワークライフバランスの推進に取り組み、人が企業と共に成長できる環境をつくっていきます。



●●● “地球” を大切にす ●●●

—— 廃棄物から固形燃料へ。セシールのリサイクルへの取り組み ——

ビニール廃棄物を固形燃料へリサイクル

大量生産・大量消費の暮らしの裏側で大きな問題となっているごみ問題。家庭や事業所から出る廃棄物は地球に大きな負担を掛けています。通販事業を行っている当社でも、梱包材を始めとする使用済資材を大量に廃棄していますが、一方でそれらをリサイクルし、新たな固形燃料にする取り組みを始めています。

セシール志度ロジスティクスセンターでは、2018年7月より排出されるビニール廃棄物を産業廃棄物処理業者に委託し、固形燃料化(RPF)にする取り組みを行っています。RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) とは、一定形状で密度の高い固形燃料で、専用の装置で燃やされ、乾燥や暖房、発電などの用途に用いられます。また、石炭など化石燃料の代替として、CO₂削減など地球温暖化防止に役立っています。

2019年度は志度のロジスティクスセンターから13tあまりものビニール廃棄物を排出しましたが、これをRPFにすることにより100%リサイクルの実現が達成できました。また、さらに、ビニール廃棄物だけでなく、不要となった段ボールや衣類などのリサイクル化の取り組みも進めています。

資源を使って、作って、捨てる、といった直線的な流れでなく、廃棄されたものをリサイクルして活用することを通じて、持続可能な社会の実現を目指していきます。

〈破砕処理〉 〈RPF成型〉 〈RPF完成〉



(写真：株式会社エムケーインデクト提供)